平成 30 年 7 月豪雨災害での救援活動

人事課　池田　英門

平成 30 年 7 月に発生した西日本豪雨災害で深刻な被害を被った岡山県倉敷市真備町へ、日赤大阪府支部、大阪赤十字病院、高槻赤十字病院の職員 12 名（医師 2 名、看護師 4 名、薬剤師 2 名、主事 3 名、調整員 1 名）が 7 月 21 日～24 日に大阪府支部救護第 2 班として派遣されました。21 日と 22 日は岡田小学校で診察を行い、23 日と 24 日はまび記念病院で熱中症対策チームとして活動しました。発災から約 2 週間経過した岡田小学校での診察では、重症患者は少なく軽症患者が主に診られましたが、こころのケアを必要とする人たちがおられることを感じました。災害診療から保険診療への移行期という時期に支援をし、どのような形で地域医療へ貢献すればよいか考えさせられる活動でした。一時でも早い復興を願っています。

診療情報を整理する主事

岡田小学校の保健室にて診察